



平成28年9月15日
宇部市

「第27回UBEビエンナーレ」

『UBEビエンナーレ応募作品展』

【実物作品を決める一次審査:10月2日(日)13:30~17:00】

会期:10月3日(月)~11月3日(木)10:00~17:00

会場:ときわ湖水ホール 入場無料

山口県宇部市(宇部市常盤町一丁目7番1号、市長:久保田后子)は、2016年10月3日(月)~11月3日(木)に、ときわ湖水ホールにて、「第27回UBEビエンナーレ」に、アメリカ、イタリア、韓国など世界各国から応募のあった約300点近くの模型作品(実物の約10分の1)を一堂に展示する『UBEビエンナーレ応募作品展』を開催します。

応募作品展に先立ち、10月2日(日)には、2017年の本展で展示される実物指定制作作品の18点を選出する一次審査が開催され、一部一般公開されます。

選考委員:

- 酒井忠康(委員長、美術評論家・世田谷美術館館長)
- 澄川喜一(彫刻家・島根県立石見美術館館長)
- 水沢勉(美術評論家・神奈川県立近代美術館館長)
- 逢坂恵理子(横浜美術館館長)
- 河口龍夫(現代美術家・金沢美術工芸大学教授)
- 斎藤郁夫(山口県立美術館副館長)
- 藤原徹平(展示委員、建築家・横浜国立大学大学院Y-GSA准教授)
- 日沼禎子(女子美術大学准教授)
- 岸桂子(毎日新聞社大阪本社学芸部副部長)
- 久保田后子(緑と花と彫刻の博物館館長)



「第26回展の応募作品展の様子」

『第27回UBEビエンナーレ応募作品展』について

【概要】

展覧会名:第27回UBEビエンナーレ応募作品展

会期:2016年10月3日(月)~11月3日(木) 10:00~17:00(入場無料)

会場:ときわ湖水ホール

山口県宇部市大字沖宇部254番地(宇部市ときわ公園内)

主催:宇部市、UBEビエンナーレ運営委員会、毎日新聞社

お問い合わせ:

緑と花と彫刻の博物館管理課(ときわミュージアム)内 UBEビエンナーレ事務局

電話0836-37-2888 FAX0836-37-2889

E-mail ubebiennale@city.ube.yamaguchi.jp

【展示内容】

- (1)第27回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)実物制作指定作品・入選模型作品
- (2)第27回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)の全応募作品
- (3)宇部市所蔵作品の中から柳原義達・向井良吉作品コレクション
- (4)第4回プチビエンナーレ 子供たちがつくったプチ彫刻

【会期中のイベント内容】

- 彫刻トレーディングカードスペシャル「ちょこっと彫刻調査団」
彫刻クイズをとりて、彫刻マスターをめざそう！クイズは1日2回まで！スタンプを5個(1日1個)集めると“スペシャルレアカード”をプレゼント！
〔日時〕会期中毎日
〔参加費〕無料
- 第4回プチビエンナーレ
夏休みにワークショップで子供たちが制作したプチ彫刻を、プチビエンナーレ会場に展示します！
〔日時〕会期中毎日
- 撮っちゃお！彫刻 de ハロウィン
ハロウィンコスチュームでチェックポイントに指定された彫刻と写真を撮ると、お菓子がもらえるよ！全部のポイントをまわった方には、特製カンパッジをプレゼント！
〔日時〕10月30日(日)13:00～15:00 ※小雨決行
〔参加費〕無料
〔定員〕先着100名

UBEビエンナーレについて



UBE BIENNALE

UBE International Sculpture Competition

UBEビエンナーレは、山口県宇部市が主催し、半世紀にわたって2年に1度開催している、日本最古の「現代日本彫刻展」。

戦後、工業の街として発展した宇部市は、重大な公害問題に悩み、緑化運動によって街を再生させようとなりました。その活動をきっかけに、UBEビエンナーレは、1961年「宇部市野外彫刻展」としてスタート。以来名称を変えながら、日本最大の野外彫刻展に発展しました。21世紀に入ってから国際展形式を取り入れ、海外作品も積極的に募集。「新人作家の登竜門」としても知られているほか、今日のアートによるまちづくりの先駆的な事業としても高い評価を得ています。

2017年9月30日(土)の二次審査では、一次審査で実物指定制作作品に選出された18点の中から、大賞を含む各賞を決定し、2017年10月1日(日)～11月26日(日)まで、ときわミュージアム彫刻野外展示場にて、一般公開されます。

会期終了後、歴代の作品はときわ公園および市内の随所に設置されており、その数は200点以上のほり、まさにまち全体が野外彫刻の美術館となっています。